

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2090300514		
法人名	有限会社ほほ笑み介護支援センター		
事業所名	ほほ笑みホーム梨ノ木荘		
所在地	長野県上田市大屋239-3		
自己評価作成日	令和 3年 2月 28日	評価結果市町村受理日	令和 3年 10月 1日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	<a href="https://www.kai.gokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Ji_gyosyoCd=2090300514-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search">https://www.kai.gokensaku.mhlw.go.jp/20/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&amp;Ji_gyosyoCd=2090300514-00&amp;ServiceCd=320&amp;Type=search</a>
----------	---

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	コスモプランニング有限会社		
所在地	長野市松岡1丁目35番5号		
訪問調査日	令和 3年 7月 30日		

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

ほほ笑みホーム梨ノ木荘は古民家を改修した建物で、玄関から自宅のような雰囲気があるグループホームです。自宅では過ごす事が困難であった医療依存度の高い方でも安心・安楽に生活出来るよう、24時間看護体制とし医療連携を取っています。  
グループホームでは、馴染みのある方々と近くにいる事で安心して生活できるよう、環境作りに力を入れています。また、職員は日頃より地域の活動に積極的に参加し、ご入居者様が地域行事に参加しやすい様、関係作りをしています。コロナ禍のため、地域行事に制限があり、直接触れ合える機会が減っていますが、昔懐かしい住み慣れた地域にドライブに出かけたり、季節を感じる事が出来るような食事や飾り物を作成することで四季を感じる事ができるように職員全員で取り組んでいます。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

当ホームは年号が変わった令和元年5月に旧グループホーム梨ノ木荘の建物を大幅にリノベーションし開設された。運営する法人の「寝込まない、住み慣れた自宅・地域で最期まで自分らしく生活する、介護予防」という理念を基にホームのコンセプト「まるで自宅で生活しているかのように」を掲げ、病院や大規模施設でなく、地域と密着した家庭的な雰囲気の中で医療依存度の高い高齢者が穏やかに最期までその人らしい生活を送れるように看護師を手厚く配置し支援している。同じ大屋地区には法人の複合施設があり、その複合施設で重度化した方も当ホームに移行することがあり、同じ理念とノウハウの下、24時間の看護体制が取られ、更に、安心してホームで過ごすことができるようになっていく。遠方の家族が多く、新型コロナウイルス禍で面会制限をしているため家族の意見・要望は電話で聞いている。また、毎月「ほほ笑み便り」「利用者様のご様子」という手紙形式の報告を職員から家族へ郵送し、日々の生活ぶりを知らせている。更に、法人のホームページにはブログのコーナーがあり、ホームの生活の様子を写真も交え伝えている。新型コロナウイルス禍前にはお孫さんが中心となり敬老の日にはご自宅で利用者を囲み全員の集合写真を撮ることが恒例となっていた家族があり、同じ光景を早期に見ることが出来るよう新型コロナウイルスの収束が待たれるところである。

## V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印		項目		取り組みの成果 ↓該当する項目に○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほほ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほほ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者や職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほほ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○	1. ほほ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほほ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○	1. ほほ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				